

# 報告書抄録

ふりがな	こめまちいせきだい4ちてん
書名	米町遺跡第4地点
副書名	(仮称) 小倉北区米町1丁目ホテル新築工事に伴う埋蔵文化財調査報告
巻次	
シリーズ名	北九州市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第619集
編著者名	中村利至久
編集機関	(公財) 北九州市芸術文化振興財団 埋蔵文化財調査室
所在地	〒803-0816 北九州市小倉北区金田一丁目1番3号 TEL 093-582-0941
発行年月日	西暦2023年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m <sup>2</sup>	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こめまちいせき 米町遺跡 だい ちてん 第4地点	ふくおかけんきたきゆうしゅうし 福岡県北九州市  こくらぎたくこめまち 小倉北区米町  ちようめ 一丁目221-1	40100		33° 53' 3.02"	130° 53' 1.08"	20201207  )  20210125	374.05	(仮称) 小倉 北区米町1丁 目ホテル新築 工事に伴う埋 蔵文化財発掘 調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
米町遺跡 第4地点	城下町跡	近世	溝状遺構 土坑 埋壘 ピット 井戸	近世の磁器・陶器・瓦質土器・土師質土器・土師器・瓦	

要約	<p>米町遺跡第4地点は紫川河口部東岸域に所在している。ここは近世には小倉城内東曲輪北側の一画にあたり、安政年間に描かれたとされる『小倉藩土屋敷絵図』と照合すると「御先筒組ヤシキ」とそこに隣接する屋敷地ならびに明地の一部に相当している。</p> <p>調査の結果、19世紀中頃に形成された遺物包含層を挟んで2つの遺構面が確認された。上面で検出された遺構は井戸と埋壘であり、遺物包含層を掘り込んで設けられている。一方の下面は、基盤層上に設けられた遺構群であり、溝状遺構、土坑、ピット等が検出されている。これら下面の遺構群は、17世紀代から19世紀代にかけて設けられたものであるが、それぞれの配置から18世紀前半～中頃に境に建物配置の変更等、土地利用の方法に変更があったことが窺われる。</p> <p>なお、下面の遺構群を覆って調査区全面に堆積する遺物包含層の存在は、それまでの建物等が刷新されたことを意味しており、19世紀中頃に大きな生活環境の変化があったことが分かる。</p>
----	--